

佐渡市小学校教育研究会 図工部の取組

佐渡市立両津吉井小学校 渡部 聖子

1 研修の方針

実践的な研修の場を設け、日頃の指導力の向上を図る。

2 活動の概要

(1) 第1回 研修会

- ① 日時 6月15日(水) 午後3時～4時40分
- ② 会場 両津吉井小学校
- ③ 指導者 臼杵 洋子 様
- ④ 内容 絵画実技指導

人物を描くとき、子どもはどこに難しさを感じるかを、参加者がクロッキーを通して考えた。顔や後ろ姿など、モデルの特徴をつかんで表現することに取り組んだ。正面の顔も、上向きと下向きでは目や鼻の位置が違うこと、横顔も角度によって目や頬の見え方が変わることを確認した。また、児童の作品を鑑賞し、人物の重なりを表現する際の配慮事項を学ぶことができた。



(2) 第2回 研修会

- ① 日時 7月28日(木) 午後1時30分～4時30分
- ② 会場 両津吉井小学校
- ③ 指導者 伊藤 秀昭 様
- ④ 内容

ア 新教育課程研究集会の伝達

伝達者 沢根小学校 教諭 川内 篤子
前浜小学校 教諭 川上 美津江

イ 版画実技指導(木版画)

伊藤先生より、実演を交えた御指導をしていただいた。参加者からは、構図や白黒のバランス等、たくさんの質問が出された。伊藤先生は、子どもの作品を提示しながら、一つ一つ答えてくださった。

研修の後半では、参加者が版木や練り版の後始末の仕方、刷りに取り組み、指導のポイントを学ぶことができた。



3 成果と課題

臼杵先生からは、子どもが自分の力で課題を解決していくための支援を、きめ細やかに御指導いただいた。伊藤先生からは、基本的なことからレベルの高い技術まで、熱心に御指導いただいた。

参加者からは、研修後、学級でクロッキーに取り組んでいるとの報告があった。また、二人の指導者から紹介いただいた自作教材が、とても参考になったとの感想が多く寄せられた。

今後も、会員の声を大事にしながら研修を積み重ね、日々の指導に生かしていきたい。